

平和への道

市大平和委員会機関紙 No. 22

520小西誠君との反戦討論集会(1/2)

＝帝国主義軍隊の内実暴露を通じ、小西君を支持し、裁判員等に勝利により＝

5/9 反自衛隊・小西三曹支持委員会 結成集会 (6/1 扇町会館)

520小西誠君との討論会に参加して、自衛隊の実状を知ろう!

昨年11月、自衛隊在度分屯基地内に「アジアン保」といって、自衛隊を養って起すために小西誠君(21)が、今度来日して、各所の組合の集会に出席して半日の輪を掛けようとしています。平和委員会、小西君が自衛隊内部から、その実態を暴露したことを高く評価し、小西君との連絡を密にするために、そこで自衛隊の実態を詳しく知るための討論会を開きます。全ての学友のみなさんの参加を呼びかけます。

資料 自衛隊

憲法9条よそに 高度成長の自衛隊

『朝日新聞』という世界にも類例のない日本国憲法は、昭和23年の制定日を迎えたが、一方この憲法下で、わが国の防衛力は着々と増強し、防衛費は、今までの45年度に

は5,695億円と世界1位という高度成長ぶり。来年は、十指のうちにいる見込みとなった。-----日本の自衛力は、45年3月末で陸上自衛隊7万9千人、海上自衛隊13万3千トン、航空自衛隊970機までに伸びた。この数は、日本周辺国とくらべてとそれほとあるものではない。陸上兵力は韓国(29師団55万人)北朝鮮(20師団35万人)台湾(2師団40万人)中国(120師団250万人)のどれと比べても非常に少ない。しかし、装備面では火力、機動力のいずれもオマエ次大戦中の装備をもつ周辺国よりすぐれている。航空では、中国(3000機)よりは少ないが、韓国(380機)北朝鮮(600機)台湾(500機)より多く、機種・積載兵器ともに新しい。70年代防衛の主力といわれる海上力は、中国(1000隻20万トン)台湾(300隻4万5千トン)より数の上では少ないが、能力の上でははるかにすぐれているといわれ、-----。

(5月3日 期 毎日新聞)



決議や勧告は無効

アジア会議機

一、米国の一握りの従軍と衛星国を味方、アジア諸国はこれに参加することを拒否した。明らかに米国の従軍と衛星国と反動分子をみき集めるいりゆる「アジア会議」はカンボジアにおける米国の侵略に奉仕し、崩壊の危機に直面しつつある反動的な非合法的なロフ・ノルニシリク・マタク政権に合法的な見せかけを与え、カンボジアにおける乱暴な干渉を強化し「アジア人とアジア人と戦わせる」米国の陰謀を実行することを意図したものである。

一、インドシナに関するジュネーブ会議の参加国としてまたインドシナ人民首脳会議に忠実なバトナム人民とバトナム民主共和国政府はいりゆる「アジア会議」をきびしく糾弾し、この会議で採択されるすべての決議と勧告はすべて無効である、と宣言する。